

## 蒲生田岬周辺海域で南方系のキリアナゴが獲れました！

海洋生産技術担当 岡崎孝博

Key word; 蒲生田岬周辺海域, キリアナゴ, 小型定置網

### はじめに

2010 年 11 月 30 日午前 9 時頃, 椿泊漁協に漁獲物の調査でお邪魔したときです。荷さばき所の漁協職員さんから, 見たことのない魚を生かしてあるので, 持ち帰って調べてほしいと依頼を受けました。その魚は, 11 月下旬, 太平洋に面した阿南市蒲生田岬沿岸の水深 25m に設置した小型定置網に入網したそうです。

生け簀の底には体全体が黒っぽく, 1m 以上もある太長い魚がじっとしていました。そこで水産研究所(美波庁舎)に持ち帰って詳しく調べることにしました。

### 同定の結果

検索図鑑で調べた結果, 背鰭起部と胸鰭の位置関係, 胸鰭に黒色斑紋があること(写真 1)などから, ウナギ目アナゴ科クロアナゴ属のキリアナゴと同定されました<sup>1)</sup>。全長 124cm, 体重 2.94kg で(写真 2), 本種の特徴の一つである, 生時に「幅の広い横帯」が体側に出ることも確認できました(写真 1)。

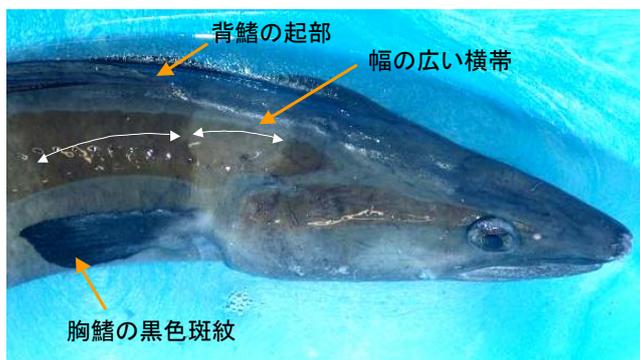


写真 1 キリアナゴの頭部



写真 2 小型定置網で漁獲されたキリアナゴ

## これまでの報告例

キリアナゴの生息域は珊瑚礁域，鹿児島県以南，インド・太平洋域となっていることから<sup>1)</sup>，南方系の魚種と言えるでしょう。土佐湾や和歌山県でも獲れたことがあるようです(波戸岡私信)。和歌山県で本種が漁獲されたことが，1998年1月10日付けの紀伊民報(地方新聞)に掲載されました。前年末に和歌山県白浜町富田沖の水深25mの砂地で刺網によって漁獲されたものでした。完熟した卵をもち，全長は122.1cmで，県下で初めての確認だったそうです。これらは熊野高校の当時教諭であった池田博美氏が調査して明らかにしたものです。

徳島と和歌山における漁獲報告例を図1及び表1にまとめました。共通点として，全長120cm程度の雌，漁獲時期が冬季(徳島では11月，和歌山では12月)，漁場の水深が25mであったことが挙げられ，双方の事例が非常に似通っていることに驚かされます。また，漁獲場所は徳島の方がやや北に位置することから最北での漁獲事例になるのかも知れません。

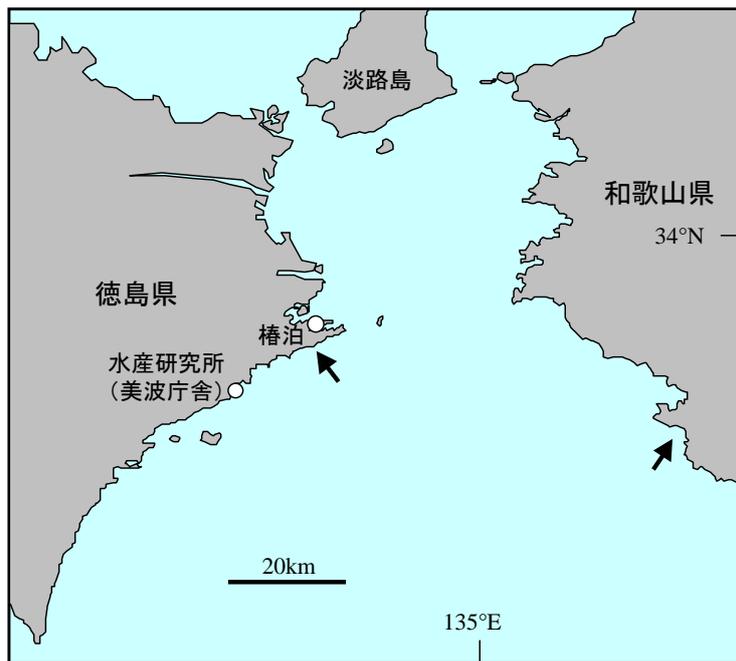


図1 キリアナゴの漁獲場所(矢印の先端)

表1 徳島と和歌山におけるキリアナゴの漁獲

報告例	徳島県	和歌山県
年	2010	1998
時期	11月下旬	12月末
漁場	阿南市 椿泊町沖	西牟婁郡 白浜町沖
水深	25m	25m
漁業種類	小型定置網	刺網
全長	124cm	122.1cm
性	雌	雌

## どうして獲れたか

キリアナゴはなぜ小型定置網に入網したのでしょうか。

小型定置網の漁法や漁場について、特にこれまでと変わっておらず、近年大きく変化したのは水温です。特に 2010 年の夏季は異常な猛暑で、本県沿岸の水温は 8 月中旬以降、著しく高めに推移しました(図 2)。このため、本来、南方系のキリアナゴが高水温のために北上し、漁場に回遊して入網したのかも知れません。また、海流に乗って来遊した稚魚が着底し、近年の高水温化傾向に伴い生き残って成長した可能性も考えられます。池田氏は当時の新聞で「幼生のころ黒潮に乗って来て、紀南沿岸で成長して成魚になったと考えられる」と話しています。想像するときはありませんが、今後、本種の漁獲事例が増えていくなれば高水温仮説の信憑性が高まると思います。

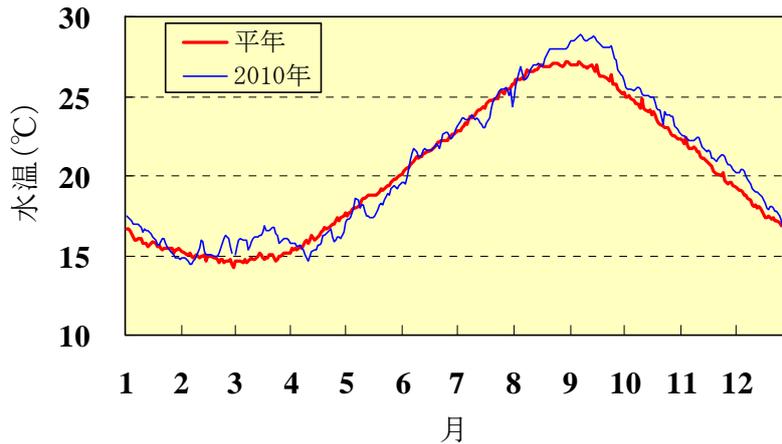


図 2 水産研究所(美波庁舎)における汲み上げ海水温の変化

## 終わりに

今回のキリアナゴは、屋内水槽で汲み上げ海水の掛け流しによって約 2 ヶ月間飼育しましたが、2011 年 2 月 1 日に死亡しました。この時の水温は 14.6°C で、南方系の本種にとって冷た過ぎたと考えられます。最終的に、このキリアナゴは貴重な標本として徳島県立博物館に所蔵されました。標本の登録番号は TKPM-P 17334 です。

水産研究所では漁場環境の変化を把握する目的で、沿岸域の特異情報を記録しています。特異な海洋現象がみられた場合、珍しい魚介類が捕れた場合は、水産研究所まで是非ご一報ください。

最後に、キリアナゴを提供いただいた椿泊漁協の漁業者および職員の方々、また、キリアナゴの特徴や漁獲情報について、ご教示いただいた大阪市立自然史博物館学芸員の波戸岡清峰氏、標本の所蔵に快くご協力いただいた徳島県立博物館学芸員の佐藤陽一氏に深謝します。

## 参考文献

波戸岡清峰. アナゴ科. 「日本産魚類検索 第二版」(中坊徹次編) 東海大学出版会, 東京. 2000;229.